

# 令和5年度普及活動アルバム

北アルプス農業農村支援センター

令和5年度は3月上旬から4月上旬は高温で推移し、大町市のりんごの開花は平年より13日早くなりました。生育が進んでいた中で4月10、25日の低温により、りんごを中心に凍霜害が発生しました。梅雨明け以降は高温で推移し、生育は全般に進み、大気が不安定な日が多く、ひょう害や短時間に降水量が多い日がみられました。

基幹作物である水稲は、作況指数が「101」（中信地区）となり、収量は平年並みで夏期の高温により高温登熟障害、胴割れ粒、カメムシ類による斑点米等による被害もありましたが1等米比率は96%を確保しました。

また、重点活動として近年生産が拡大している白ネギについて、圃場整備実施地域の意欲的な大規模稲作経営体を対象に、水稲との複合経営による収益力向上を目的に、モデル圃場の設置と作業改善等の検討を行いました。

一般活動では、担い手の確保・育成をはじめ、スマート農業の推進、地域特産品の振興等に加え、新たに子実用トウモロコシの導入試験を開始しました。



## 【通年】【重点課題】

### 水田農業における大規模白ネギ栽培技術の確立による産地育成

管内の大規模水田経営法人とJA大北・JA全農長野・市場関係者と連携し、モデルほ場を3か所設置し、栽培技術の向上を図るとともに、管理作業機・調製機器の活用を支援するなど、水田経営への白ネギ導入の利点や課題を検討しました。



## 【通年】

### 「農村女性セミナー」開催

若手女性農業者を対象に、農村文化に関する技の伝承と世代を超えた交流を図り、次代に繋ぐ農産加工技術習得を目的に農村女性セミナーを開催しました。米粉パン作り、豆腐作り、牛乳料理の3回の講座に、延べ37名の参加があり、農村生活マイスターとの交流も図られました。



### 【6月】りんご適正着果等講習会

管内りんご生産者を対象に、J A大北と連携し、安定生産と収量向上のため、仕上げ摘果現地講習会を3地区で開催しました。

講習会では適正着果の他、4月にあった凍霜害への対応、あら摘果、収穫前管理、整枝せん定の指導も行いました。



### 【7月】AFC と支援センターによる新規就農者激励会開催

地域の農業青年クラブのアルプスファーマーズクラブ(AFC)と共催で、令和4年度に北アルプス地域で新たに農業を始められた方が、地域農業の担い手として活躍されるよう、先輩農業者、関係機関等による激励会を開催しました。お互い交流を深め、今後の経営発展、大北地域の農業振興について情報交換ができました。



### 【8月】「桜仙峡あずき」の生産振興（生産者ほ場巡回）

池田町の桜仙峡あずき保存会の会員と共に、生産者のほ場を巡回し、あずきの生育状況や管理状況を確認しました。

ほ場巡回の状況は巡回時に伝えるとともに、改善事項等の資料としてまとめ、「桜仙峡あずき目揃え会」時に説明し、今年度の振り返りに活用しました。



### 【8月】ジュース用トマト収穫機の実証

ジュース用トマトの収穫労力軽減を目指した機械収穫実演会を、池田町の（農）池田町ファーム内鎌支部のほ場で開催しました。

ジュース用トマトの積算温度から計算して、定植日と収穫日を決め、収穫機械での一斉収穫を行いました。



### 【8月】雪中キャベツほ場のベッドマイスターの施工

排水対策に有効な 20cm～43cm の高畝づくりができる「ベッドマイスター」による施工を小谷村で行いました。施工により、土壌は膨軟になり、有効土層が拡大するとともに、多量降雨時においても速やかに土壌水分の低下が見られ、過湿状態の解消が早まったことから、生育も以前に比べ良好となりました。



### 【9月】水稲の自動運転コンバイン（有人）実演会

農機メーカー、研究機関などで構成する「新稲作研究会」の現地試験として、GPS情報を利用して自動運転による収穫作業ができ、さらに5mメッシュで玄米収量がデータとして示される、自動運転コンバインでの収穫実演会が大町市常盤で開催されました。

無駄のない自動操舵に参加者からは驚きの声が上がりました。



### 【10月】大豆「東山231号（すずみのり）」現地検討会

池田町で、安定した大豆種子の確保に向け、採種ほ場の栽培管理指導やほ場審査を実施しました。

8月と10月に採種ほ場審査を実施し、同時期に県試験場で育成された新品種「東山231号（すずみのり）」の栽培講習会、現地検討会も実施しました。



### 【11月】子実用トウモロコシの収穫実演会

県内で初めて本格的に「子実用トウモロコシ」に取り組み、5品種の栽培試験を行いました。試験は大町市の大規模稲作法人に依頼し、JA大北、JA全農長野、種苗・機械メーカー等にご協力いただき、無事収穫を行うことができました。

収穫機の収穫スピードや子実の選別精度の高さに実演会参加者からは驚きの声が聞かれました。



### 【1月】おむすびプロジェクトの実施

北アルプス山麓おむすびプロジェクト（主催：大北地区農業振興推進協議会）のオープニングイベントとして、白馬南小学校2年生と4年生の姉妹学級（33名）で、事前学習でオリジナルのおむすびを考案し、「総選挙」で選んだ3種類のおむすびを児童自らが握って試食しました。